

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習 I		
担当者(Instructors)	柿原 聖治	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

受講したクラスで設定された専門について、基礎的な知識の習得と、実践力の育成を行う。そのうえで、観察・実地見学などを行い、必要な見聞を広める。見聞して得た成果を活用して、今まで知り得た知識に融合させて、立体的で、柔軟な学びの全体像を持つ。社会につながる学びのおもしろさを確認できるように、地域を学びのフィールドとし、大学と社会へのつながりを意識した課題解決型学習である。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	ディスカッション、グループワークを取り入れ、課題解決型学習を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業計画、役割分担	<input type="checkbox"/>
第2回	問題解決のために必要なりテラシー1 : 科学的方法	科学的知識、科学的方法	<input type="checkbox"/>
第3回	問題解決のために必要なりテラシー2 : 具体的例	科学的方法の具体例	<input type="checkbox"/>
第4回	身近な問題をテーマとして取り上げる	テーマを設定し、計画を作る	<input type="checkbox"/>
第5回	その資料収集の方法を提示する	テーマに沿った資料を収集する	<input type="checkbox"/>
第6回	資料の分析法を提示する	資料を分析する	<input type="checkbox"/>
第7回	テーマを決め、資料を収集する	話し合いによるテーマ設定と、文献収集	<input type="checkbox"/>
第8回	問題点の絞り込みを行う	話し合いによって、問題点を探る	<input type="checkbox"/>
第9回	解決法を考える	話し合いによって、色々な解決法を探る	<input type="checkbox"/>
第10回	解決法の絞り込みをする	話し合いによって、より良い解決法に収束する	<input type="checkbox"/>
第11回	レポート作成の事前準備をする	グループを作り、分担を決める	<input type="checkbox"/>
第12回	レポートの作成の準備をする	各グループで、作成準備をする	<input type="checkbox"/>
第13回	レポートの検討を行う	グループごとに、まとめていく	<input type="checkbox"/>
第14回	レポート全体の検討を行う	全体を通して、一貫性を検討する	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	全体を振り返り、総括をする	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

それぞれ次回の課題を提示するので、学生はそれに取り組む(毎週2時間)。講義で行ったことを振り返らせ、レポートとしてまとめる(毎週2時間)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出されたレポートに、コメントをつけて返す。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題についての的確に判断し、自在に表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
課題のできばえ				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『論文・レポートの基本』、石黒 圭	4534049277
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜、紹介する	
2		
3		
4		
5		